

ウイスキー担保 長期融資

熟成に時間がかかるお酒を担保に、金融機関が醸造所の資金繰りを支える取り組みが広がっている。三井住友ファイナンス&リースはウイスキーの原酒を担保にした融資を
実行した。

三井住友リースは津崎商事（大分県竹田市）が製造するウイスキーの原酒を担保にし

三井住友リースが実行

た動産担保融資をこのほど実施した。融資額は最大数億円。期間5年で、借り換えを含めると最長20年になる。担保の評価が難しい動産担保融資では期限を1年未満とすることが多い。三井住友リースは原酒が将来生む価値を評価し、担保に組み入れる。企業融資は長らく価値が崩れにくい不

原酒の将来価値を評価

動産が担保とされてきた。一方で在庫などの動産は時間が経過するほど価値が下がってしまう。ウイスキーは熟成期間が長いほど価値が高まるため長期の融資が実現した。地方銀行ではブランド牛やランドセルを担保にした動産担保融資の実例はあるが、製品化に至らない状態では市場価値が低いウイスキーの原酒を担保とした融資は国内で珍しい。
(高橋理穂)